



町長日誌

No.224

町長日誌の第224号です。町長が日頃町民の皆さんと話し合ったことや色々な出来事を町長自ら書いたものです。町民皆さんのご意見・ご要望・ご感想をお待ちしています。

6月19日 (日曜日) AM9:30

17日(金曜日)午後2時に定例議会が終了し、慌しく札幌への出張。18日(土曜日)朝から興部町国保病院のような国民健康保険事業が直接設置している病院や診療所の医療関係者や市町村の保健師・包括ケア担当職員などの研究会である「北海道国保地域医療学会」に来賓として出席しました。

さて、興部の病院の正式名称は「興部町国民健康保険病院」と言い、私はこの病院の「開設者」という立場です。全道には国保診療施設が63施設あり病院は35、診療所が28です。ただし、この診療所には入院のできる有床診療所(滝上)と無床の診療所があります。オホーツク管内では雄武・美幌・斜里が国保病院で診療所は滝上だけです。一方、自治体名で設置された病院もあり下川は町立病院です。広域紋別病院は西紋5市町村が共同で設置した道内唯一の病院です。遠軽厚生病院は農協の厚生事業が運営する病院ですし、名寄市立総合病院はまさに名寄市が設置した病院なのです。西興部診療所は厚生診療所となっていますが村営です。ただし、どのような経営体であろうとも診療点数(医療費算出基準)は全国同じになっていますのでご安心ください。

5月30日(月曜日)～6月6日(月曜日)

8日間と長期の出張です。札幌で土地改良事業の会議、東京で土地改良事業に関する省庁や国会議員への要望会そして、北海道町村会の会議と各省庁や国会議員への要望と続きます。私は町村会では医療・福祉・教育・環境の担当委員長を務めているため代表して意見を言う機会が多くなりました。短い時間に多くの思いを凝縮して役所の方や議員に伝える作業は本当に難しいのですが、この積み重ねが来年度の事業や予算に繋がりますので、頭の中をぐるぐると高速回転させながら言葉を絞り出しています。(かなりお腹がすきます!)最終日6日には札幌でゼロカーボンの研究会がありました。この会の座長を務めていることからどうしても出席しなければならず日曜日に開催された中学校の運動会を応援できなかったことがとても残念でした。

6月17日(金曜日)

定例議会が開催され補正予算や税条例の改正などが審議され提案はすべて決定されました。特に補正予算の中でコロナ感染症による経済被害対策の交付金が国から支給されますので、色々検討しましたがやはり全世帯に、さらには農家や事業者などにも行きわたる手法として、昨年実施しました水道基本料金の減免を7月徴収分から来年3月まで実施することになりました。また、特に被害の大きい宿泊飲食業には4月から水道・下水道使用料の全額を免除していますがこれも3月まで延長することになりました。先はなかなか見えませんが、町民皆で乗り切っていければと考え議会の了承を頂きましたので7月から実施いたします。

町内のあちこちで一番牧草の収穫作業が進められています。心配された収量ですが雪が多かったことが良かったのか?多いようです。購入飼料・肥料などすべてが高騰していますので、牛の餌のベースとなる一番牧草がしっかり確保できれば農家にも力が湧いてくると思います。そして、西興部村が17日24時を持って死亡交通事故死ゼロ1万日を達成しました。おめでとうございます!

これからも交通事故には皆で気をつけましょう。では、また。

お便りをいただく場合は、適当な便箋等を封筒など(使い古しのもので構いません)に入れ、封をして、役場窓口か、お知り合いの町職員にお渡し願います。町長のみ開封とし、お返事をさせていただきます。不明な点は、総務課総務係まで。TEL82・2131です。